BE KOBE

2026年度神戸市建設事業外部評価委員会説明資料

「神戸・神鉄沿線地区」
都市構造再編集中支援事業

担当：都市局駅まち推進課

BE KOBE

目次

1. 都市構造再編集中支援事業について

2. 神戸・神鉄沿線地区について

3. 事後評価にかかる審議

都市構造再編集中支援事業について

補助金の概要

「立地適正化計画」に基づき、地方公共団体や民間事業者等が行う都市機能や居住環境の向上に資する公共公益施設の 誘導・整備、防災力強化、災害からの復興、居住の誘導の取組等に対し集中的な支援を行う。

1．都市再生整備計画の作成

市町村は地域の特性を踏まえ、まちづくりの目標と目標を実現するために実施する各種事業等を記載した都市再生整備計画を作成。

2．交付金の交付

交付金を年度ごとに交付

3．事後評価

交付期間終了時、市町村は、目標の達成状況等に関する事後評価を実施し、その結果を公表（事後評価時期：交付最終年度又は交付期間の翌年度）

都市構造再編集中支援事業について

補助金の概要

４．交付対象

都市再生整備計画に基づき実施される事業で立地適正化計画の目標に適合するもの

・道路、公園、下水道、河川、緑地、広場、防災施設、歩行支援施設、高次都市施設
（地域交流センター、観光交流センター等）、土地区画整理事業　等
・居住誘導促進事業（住居移転支援、元地の適正管理 等）
・各種調査や社会実験等のソフト事業

５．交付期間

おおむね３～５年

６．国費率

５０％（都市機能誘導区域内、地域生活拠点内）
４５％（居住誘導区域内等）

1．神戸・神鉄沿線地区について

地区概要

本地区は、神戸市北区に位置し、神戸電鉄有馬線や三田線の沿線に、住居や商業施設等が多く立地するエリアである。神戸市北区は、市全体の傾向と同様に人口減少・少子高齢化が進んでおり、この情勢に対応したまちづくりが求められている。

このことから本事業では、北区住民の貴重な生活の足となっている神戸電鉄の駅において、駅前空間の再整備等を行い、駅利用者の利便性を向上させるとともに沿線の活性化を図るためのまちづくりに取り組む。

〈都市再整備計画（神戸・神鉄沿線地区）〉

延長・規格　　：32.3ha

計画・交付期間：2021年度～2026年度

全体事業費　　：全体　2,916.3百万円

交付対象事業費：国費　2,229.2百万円

2．神戸・神鉄沿線地区　事業内容

事業目的と具体の取組み

◎：各目的に対する主たる取組（太字表記）

目　的	期待する効果	取り組み
①駅前整備による利便性の向上	駅利用者の利便性向上、良質な駅前景観の形成	◎**花山駅前広場の整備**、花山駅地下通路の美装化、花山駅前自転車駐車場の整備
		◎**大池駅前広場の整備**、大池駅前自転車駐車場の整備、大池駅前道路拡幅
		神鉄道場駅前広場の整備、神鉄道場駅前自転車駐車場の整備
	ターミナル機能の充実	◎**岡場駅前広場の改修**、岡場駅前線の道路再配分
②まちのにぎわいづくり	駅周辺の拠点性向上	地域の将来像をふまえた谷上駅前及び駅周辺の整備検討
	駅周辺のにぎわい拠点の創出	◎**文化センターの整備**、エスカレーターの整備
		中畑山南公園の整備

花山駅前広場の整備

花山駅前自転車駐車場の整備

花山駅地下通路の美装化

神鉄道場駅前広場の整備

自転車駐車場の整備

地域の将来像をふまえた
谷上駅前及び駅周辺の整備検討

岡場駅前広場の改修

岡場駅前線の道路再配分

文化センターの整備

エスカレーターの整備

大池駅前広場の整備

大池駅前自転車駐車場の整備

中畑山南公園の整備

大池駅前道路拡幅

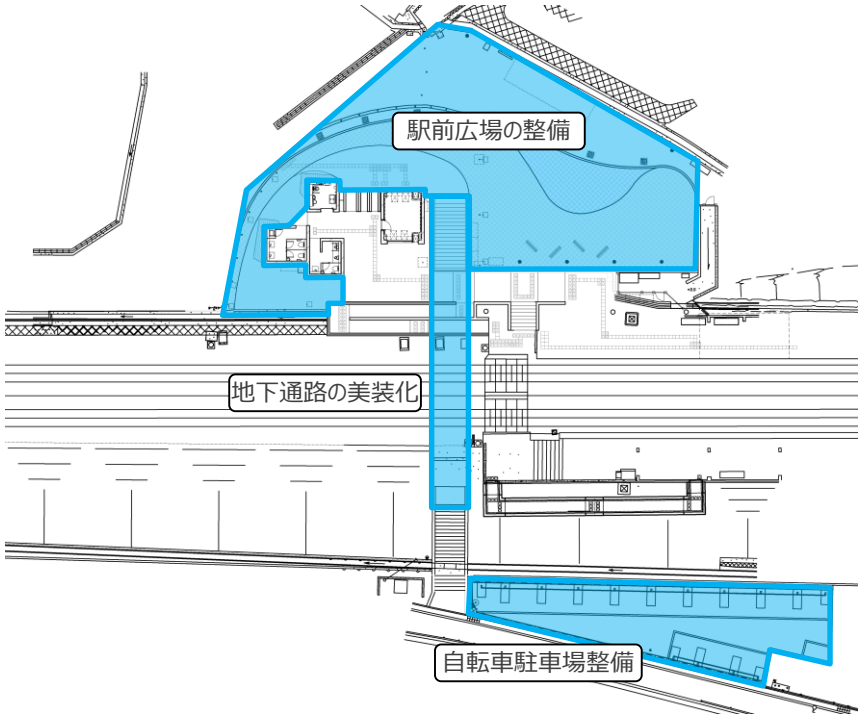
BE KOBE

花山駅（2021～2022年度）

駅前広場の整備、駅前自転車駐車場の整備、地下通路の美装化

内容：駅前空間の再整備として駅前広場を整備、地下通路を美装化
　　自転車駐車場の移転・再整備

効果：駅利用者の利便性向上、良質な駅前景観の形成



駅前広場の整備

自転車駐車場整備

地下通路の美装化

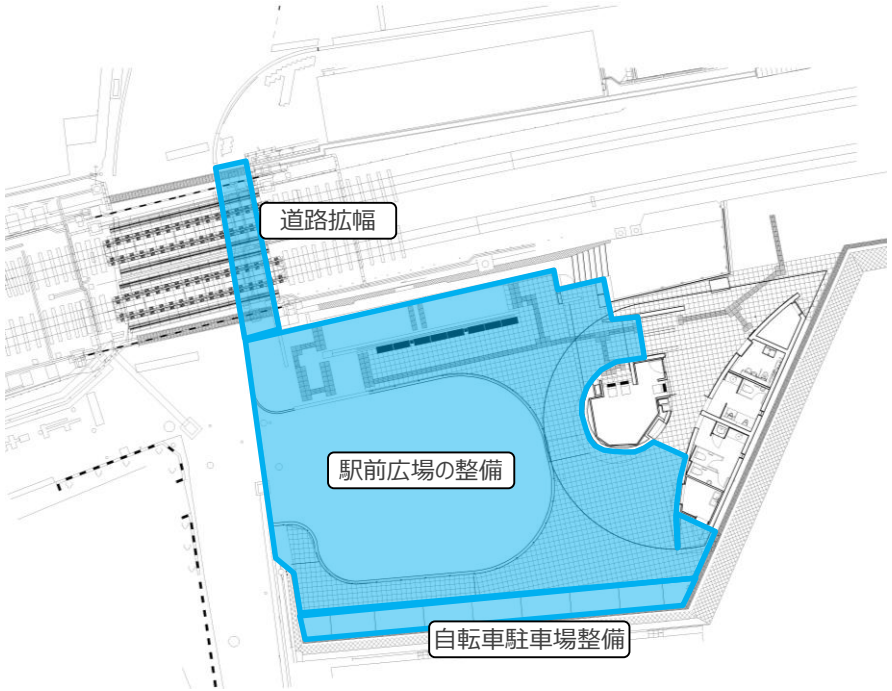
BE KOBE

大池駅（2021～2022年度）

駅前広場の整備、駅前自転車駐輪場の整備、駅前道路拡幅

内容：駅前空間の再整備として駅前広場を整備、大池駅前自転車駐車場を整備、
道路拡幅（歩行者空間整備）

効果：駅利用者の利便性向上、良質な駅前景観の形成、歩行者の安全性向上



駅前広場の整備

自転車駐車場整備

道路拡幅

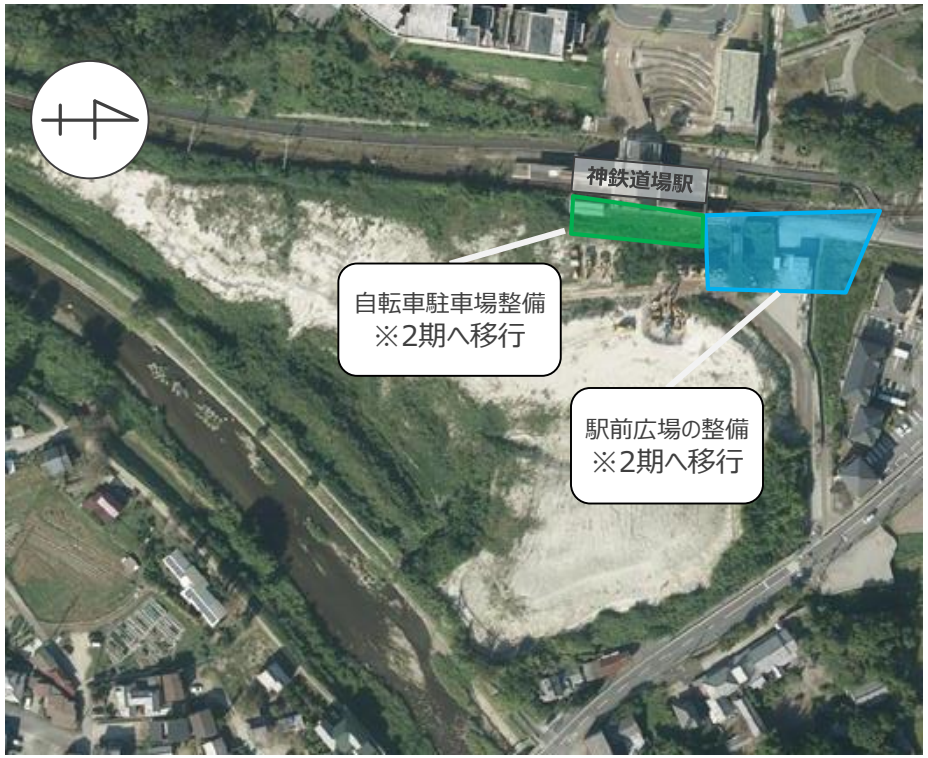
BE KOBE

神鉄道場駅（2021年度）※次期計画にて継続実施予定

駅前広場の整備、自転車駐輪場の整備

内容：駅前空間の再整備に併せて①憩い空間等を整備、②自転車駐車場を整備

効果：駅利用者の利便性向上、良質な駅前景観の形成



【１期計画】
- 現況把握、課題整理
- 駅前広場、自転車駐車場の詳細設計

【２期計画】
- 用地測量、用地買収
- 駅前広場整備工事、自転車駐車場整備工事の実施

神鉄道場駅前広場の整備

自転車駐車場の整備

BE KOBE

岡場駅（2021～2025年度）※次期計画にて継続実施予定

駅前広場の改修、道路再配分

内容：ロータリーの改修、上屋の整備、道路空間再配分による一般車両の停車帯整備、
快適な歩行者空間の整備

効果：駅及び周辺施設利用者の利便向上、道路空間の最適化と安全性向上、駅前広場との機能分散

※駅前広場の整備に関しては詳細設計のみ実施、地元意見反映のため整備計画の修正が必要となり、１期計画の中では工事未実施。

ロータリーの改修

上屋の整備

道路空間再配分

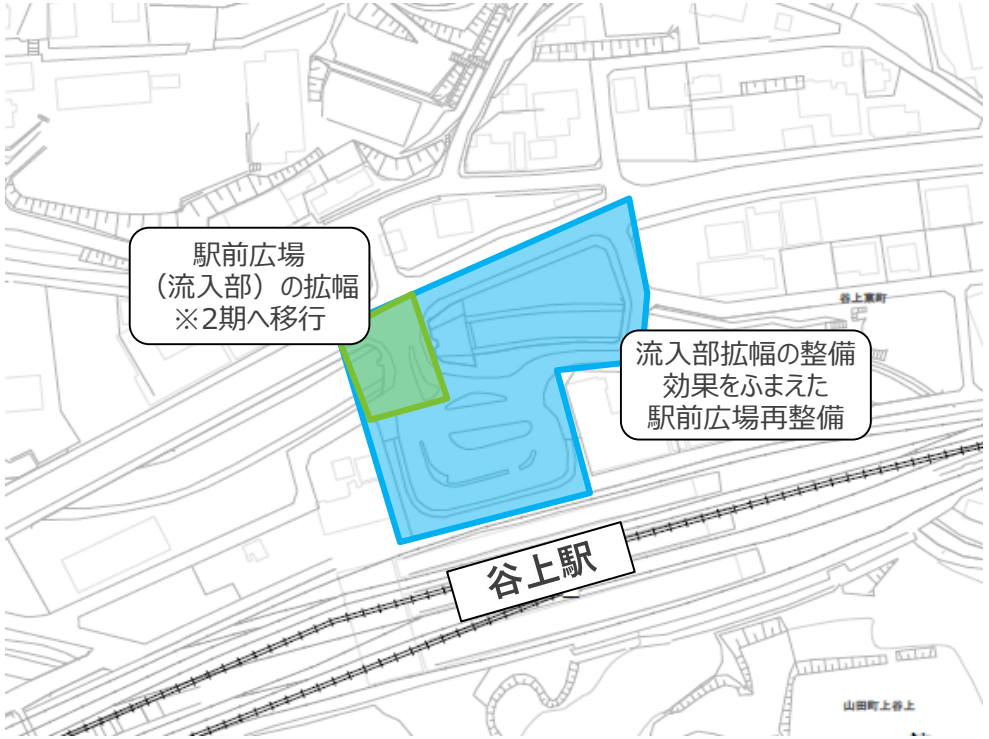
BE KOBE

谷上駅（2022～2024年度）※次期計画にて継続実施予定

地域の将来像をふまえた谷上駅前および駅周辺の整備検討

内容：駅前および駅周辺の再整備

効果：駅前および駅周辺の拠点性・利便性の向上、地域に資するにぎわい・憩い空間の創出



【１期計画】
- 現況把握、課題整理
- 駅前広場の再整備検討

【２期計画】
- 駅前広場（流入部）の拡幅
- 流入部拡幅の整備効果をふまえた駅前広場再整備

①朝夕のラッシュ時間帯における混雑

BE KOBE

鈴蘭台駅（2022～2026年度）

文化センターの整備、エスカレーターの整備、中畑山南公園の整備

内容：文化センターの整備、エスカレーターの整備、公園の改修

効果：文化センター利用者の利便性向上、にぎわい拠点の創出、駅周辺の活性化
　　歩行者同線の安全性確保、にぎわい空間の創出、駅利用者の利便性向上

新北区文化センター、エスカレーターの整備

中畑山南公園の整備

3．事後評価にかかる審議

各事業の評価項目

【計画の目標】

（大目標）神戸電鉄沿線の活性化
沿線人口の維持

【目標を定量化する指標】

①事業実施対象駅の平均駅利用者数　（人/日）

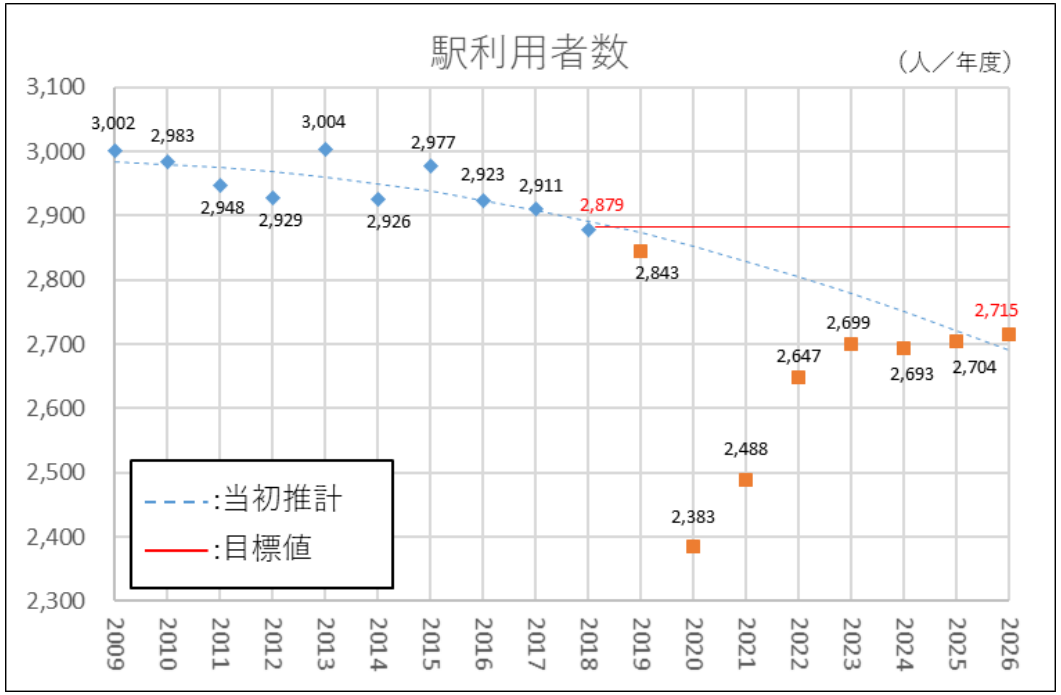
②事業実施対象駅周辺の人口　（人）

③事業実施対象駅周辺の新規住宅着工数（件）

BE KOBE

事業実施対象駅の平均駅利用者数

算出方法：各駅の１日の平均駅乗車数。
新型コロナウイルス感染症の影響が緩和された2022年度から2025年度の乗客数のデータから、評価基準年度における評価値を推計。



目標と達成状況：

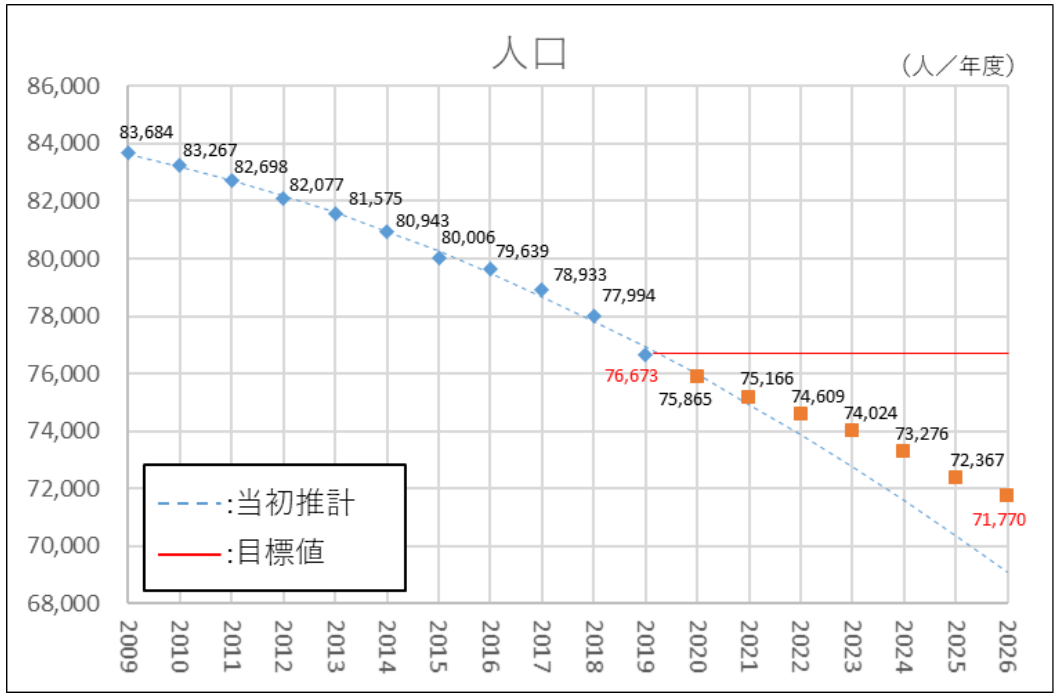
従前値（2018）	目標値（2026）	数値（2026）	評価
2,879人/日	2,879人/日	**2,715人/日**	△

評価：2020年度の北神急行市営化によって利用者数の増加が見込まれる一方で、新型コロナウイルス感染症の影響に加え、対象駅周辺における高校の統廃合や市営住宅の再編によって駅利用者数が一時的に減少したことから、計画期間での目標値の達成には至らなかった。
近年は回復傾向にあり、計画策定当初の推移予測と比較すると、減少傾向を抑えることができている。また、市営住宅や高校跡地の転活用により、新たな需要創出に向け取り組むことと合わせて、今後も統計データを継続的に確認しながら、フォローアップを行う予定である。

BE KOBE

事業実施対象駅周辺の人口

算出方法：2026年４月時点の住民基本台帳データのうち、各駅周辺（概ね半径800m以内）の町丁目の人口の合計。



目標と達成状況：

従前値（2019）	目標値（2026）	数値（2026）	評価
76,673人	76,673人	**71,770人**	△

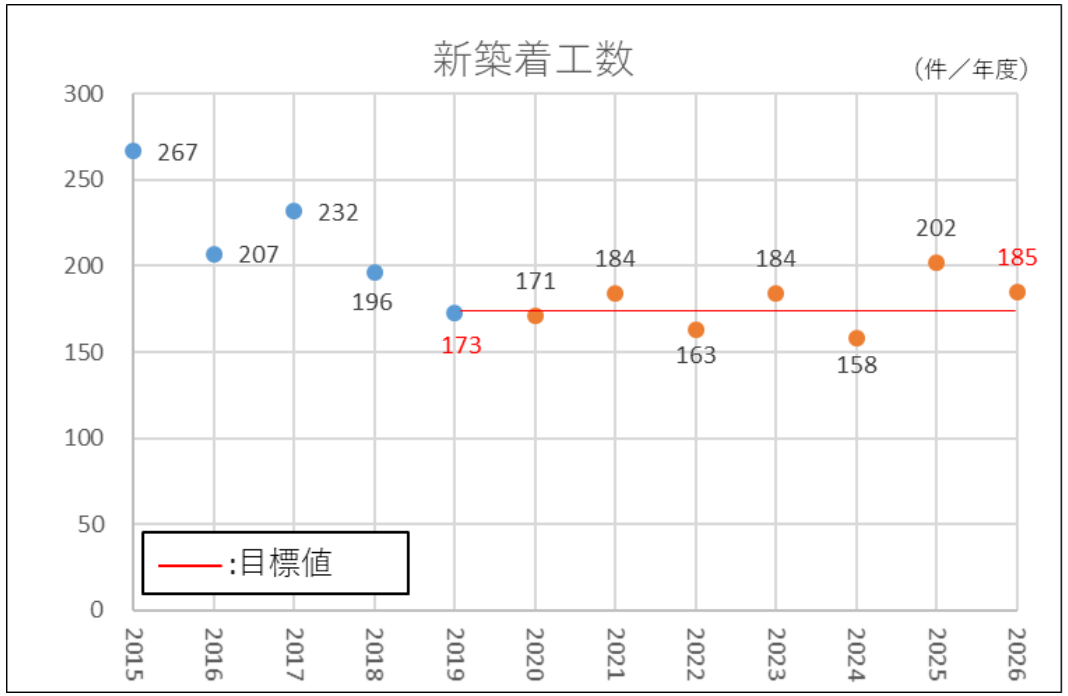
評価：近年、市内人口が減少傾向にある中、駅周辺の整備等により改善を図ったものの、十分な効果が発現せず、指標は目標値を下回った。主な要因としては、効果の発現を見込んでいた一部事業が未完了であったことが考えられる。
一方で、計画策定当初の推移予測と比較すると、減少傾向を抑えることができている。

※「事業実施対象駅周辺の人口」に誤記あり。正しい数値は、従前値：74,375人→76,673人、目標値：74,375人→76,673人

BE KOBE

事業実施対象駅周辺の新規住宅着工数

算出方法：各駅の１年間の新築着工数の合計。
2019年度（従前値）から2025年度の
建築着工統計のデータから、評価基準年度
における評価値を推計。



目標と達成状況：

従前値（2019）	目標値（2026）	数値（2026）	評価
173件	173件	**185件**	○

評価：駅前広場等の再整備により、駅利用者の利便性が向上するとともに、沿線の活性化が
図られ、指標の目標値達成につながった。今後も統計データを継続的に確認しながら、
フォローアップを行う予定である。

BE KOBE

その他の効果発現状況：イベントの実施数

【花山駅前広場を活用した賑わい創出】

2023年度：　23回

2024年度：　18回

2025年度：　24回

キッチンカー、夏祭り、まちなかパフォーマンスなど

【大池駅販売スペースを活用した賑わい創出】

2023年度：　26回　＊９月～３月

2024年度：　56回

2025年度：　31回

販売実証、フリーマーケット、学生や子ども向けイベントなど

評価：整備した駅スペースの活用が進み、にぎわい創出に一定の効果が確認されている。

実施過程の評価：官民連携による取組

【神戸電鉄株式会社との連携】

・市と神戸電鉄との連携協定に基づき、駅舎等の再整備に対する補助を行うとともに、神戸電鉄と連携し、駅前空間のにぎわい創出に向けた機運の醸成に取り組んでいる。

・完成した鉄道駅周辺では、沿線の活性化に向け、イベントの実施などソフト面の取組も展開している。

・地域の玄関口である鉄道駅を中心としたにぎわいのあるまちづくりの推進に向け、地元住民等の意見を反映しながら、駅前空間の活性化を推進する。

神戸市と神戸電鉄との連携協定

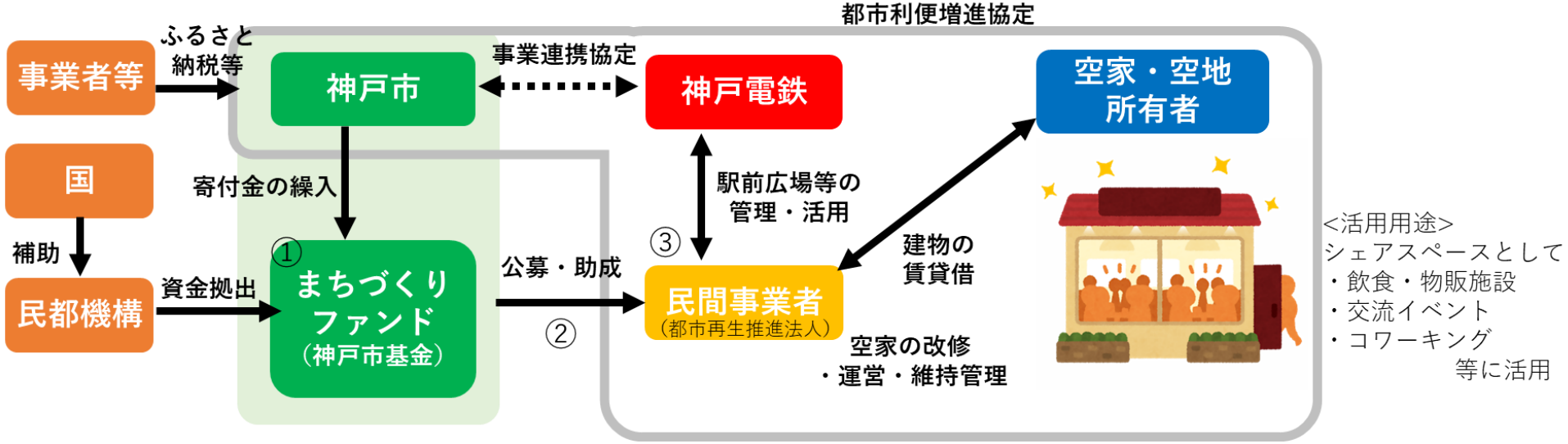
神戸市は、北神急行の市営化に伴い、2020年11月に神戸電鉄と連携協定を締結しました。この連携協定により、沿線ニュータウンのオールドタウン化や人口減少などの課題に対し、様々な取り組みを進めています。

BE KOBE

実施過程の評価：官民連携による取組

【まちづくりファンド】

・整備を実施した駅前広場と地域交流拠点の一体的な活用のため、まちづくりファンド（民間所有の空き家、空き店舗を活用した地域交流拠点の整備に対する助成金）の実施に取り組んでいる。



【事業スキーム】

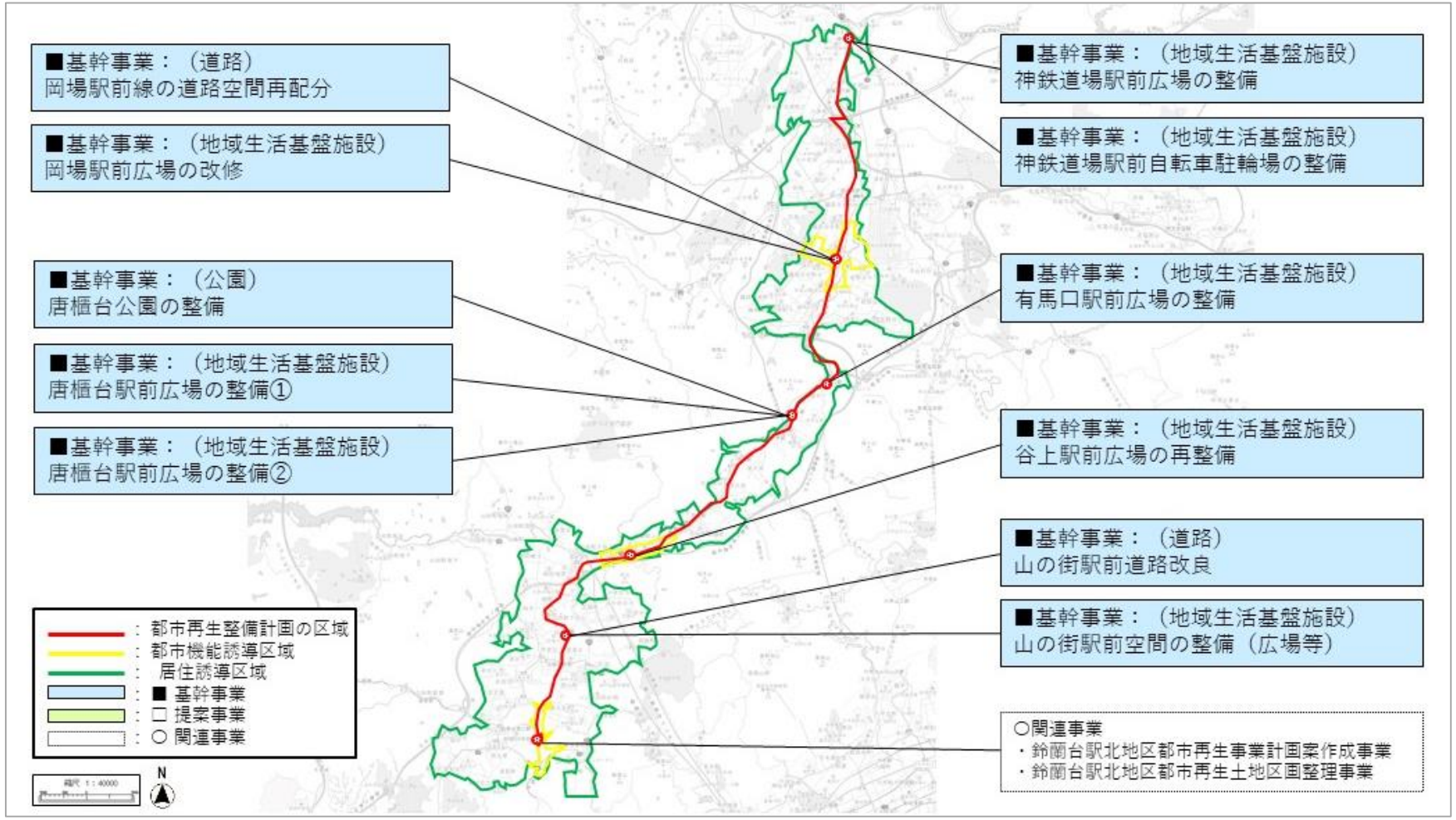
①ふるさと納税等の民間寄付金と民間都市開発推進機構の資金拠出による「まちづくりファンド」の組成

②民間所有の空き家・空き店舗を活用した地域交流拠点の整備についてファンドより助成金を支出

③整備した地域交流拠点と駅前広場の一体的活用　⇒収益を賑わいづくり等の取り組みに還元

3．事後評価にかかる審議

次期計画（2027年度～）における取組



有馬口駅前広場の整備

神鉄道場駅前広場の整備